

招 集 期 日	平成 2 8 年 4 月 2 0 日 ( 水 )		開会の場所	教育委員室
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 3 時 0 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 4 時 3 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	春 山 教 子 委 員	出 席	
岩本一盛教育長職務代理者	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古 市 明 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	栗原学校教育課長
	小島学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		4 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教育長	<p>教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する案件、その他の案件について出席委員の3分の2以上の多数で議決した時は、公開しないことができる。本日の日程で非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>		
	教育長	<p>3 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 の 承 認 に つ い て 諮 っ た。</p> <p>異議なしの声あり</p>		
	教育長	<p>3 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 は 承 認 さ れ た 旨 宣 し た。</p>		
	教育長	<p>第 3 回 臨 時 教 育 委 員 会 の 会 議 録 の 承 認 に つ い て 諮 っ た。</p> <p>異議なしの声あり</p>		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成28年3月定例市 議会提出（教育委員 会関係）議案等につ いて</p>	教育長	<p>第3回臨時教育委員会の会議録は承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>報告事項1について、学校教育部長及び生涯学習部長から説明を求めた。</p>
	学校教育部長	<p>中島直樹議員からプレゼンテーション能力育成活動事業交付金について議案質疑があり、これについては、プレゼンテーションを通して思考力・判断力・表現力の育成を図り、最終的に「学力の向上」を目指す新規事業であること、プレゼンテーションの指導はもちろん教師が行うこと、これまで以上により高い指導力が教師に求められることになるため、プレゼンテーションスキルに重点をおいた教師の研修も進めていきたいと答弁した。</p> <p>同じく中島直樹議員からの英語研修施設「ブリティッシュヒルズ」での学習についての議案質疑に対しては、平成27年度岩瀬グローバルスクール事業の中で、岩瀬小学校6年生がブリティッシュヒルズで英語研修を実施し、質の高い英語を学んだ成果を受けて、平成28年度も予算を計上したものであり、今後効果の検証を行いながら、他の学校にも広げるかどうか検討すると答弁した。</p> <p>同じく中島直樹議員からの小中学校への防犯カメラ設置についての議案質疑に対しては、これまでの防犯への取組みについて説明し、昨今の防犯カメラの犯罪抑止効果の有用性への注目から、防犯カメラの設置導入を予定するに至ったこと、ここ数年は不審者の侵入がないこと、設置する設備については、正門を監視するカメラを1台、録画機及び監視モニターをそれぞれ1台設置し、さらに犯罪抑止効果を期待して「監視カメラ作動中」の旨を表示すると答弁した。</p> <p>同じく中島直樹議員からの井泉小学校で行われている「特別な教科・道徳」についての議案質疑に対しては、平成30年度より小学校で、平成31年度より中学校において、「特別な教科 道徳」が完全実施されることになっており、井泉小学校は平成27年度に埼玉県 の道徳教育研究推進モデル校としての委嘱を受け、全国に先駆けて道徳の教科化をスタートし、注目を集めていることを説明し、井泉小学校が作成した道徳郷土教材集「みち」を活用</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>しながら、「特別の教科 道徳」の完全実施に向けた研究を市内各校で既に進めていること、羽生市教育研究会の道徳部会が中心となって研究推進体制を整え、その成果を全国にも情報発信し、日本の道徳教育を牽引していく羽生市を目指す」と答弁した。</p> <p>野中一城議員からスクールソーシャルワーカー2名の配置状況について議案質疑があり、埼玉県が配置しているスクールソーシャルワーカー1名に加え、平成27年度より羽生市スクールソーシャルワーカー教育相談員として2名を配置し、市内の小中学校を巡回すると共に、市民プラザでの教育相談業務にもあたっていることを説明した。その職務は、小中学校からの情報に基づき、問題を抱える児童生徒及び保護者に対する相談と、必要に応じて家庭訪問も実施するものであり、不登校児童に改善が見られる事例があることを答弁した。</p> <p>同じく野中一城議員からの、コミュニティスクール事業のスタート時期及び準備等を含めた計画についての議案質疑に対しては、コミュニティスクール推進委員会を設置し、5月に予定する第1回推進委員会以降、各学期1回以上会議を開催すること、その準備として3月中に地域住民への説明と委員の選定、4月にはコミュニティスクール推進委員会設置校を指定し、準備を進めることを説明した。なお、平成28年度は、川俣小学校をモデル校として指定を行い、成果を検証しながら平成29年度には市内全小学校でコミュニティスクールを実施していく予定であり、保護者や地域住民が計画段階から学校運営に参加でき、当事者として学校を支援する取組みが充実することが期待されると答弁した。</p> <p>同じく野中一城議員からの、特別支援学級の介助員配置状況についての議案質疑に対しては、特別支援学級に、学校の規模や児童生徒の状況に応じ、介助員が1人から3人配置されていること、小学校11校中10校、中学校3校は全てに特別支援学級が設置されており、羽生市は県内でも高い設置率であることを説明した。次に、発達障害のある児童生徒への早期支援対策については、埼玉純真短期大学の教授等による学校巡回訪問にて指導助言を行っていること、羽生市の発達障害の児童生徒の現状については、正確な人数は分からないが、どの教室にも発達障害の可能性のある児童生徒がいるとして、一人一人の実態に応じた対応をしていることを説明した。また、より専門的な指導を受けるため、羽生南</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>小学校に通級指導教室を設置していると答弁した。</p> <p>中島直樹議員から、学齢期における高次脳機能障害の認識についての一般質問があり、子どもも事故や病気などの脳損傷により、様々な脳機能の低下が生じるおそれがあると認識していること、発達障害については、差別や偏見がなく適切な支援ができるよう教員の学ぶ機会が多く持たれているが、高次脳機能障害についても、今後そうした児童生徒が市内の学校に通うことに備えて、障害の特性を十分理解した上で、体制を整えたいと答弁した。</p> <p>永沼正人議員からの一般質問、生涯現役社会の実現に向けてのうち1点目の羽生市内の小中学校でのラジオ体操の取組みについては、学習指導要領には準備運動として「体ほぐし運動」が位置付けられており、市内小学校5校が、ラジオ体操の取組みを実施していること、今後地域において、「健康づくり」の機運の高まりに応じてラジオ体操に限らず、学校として取組みに協力していくことは可能であることを答弁した。</p> <p>同じく永沼正人議員から、ALTの活動の幅を広げることについて一般質問があり、羽生市におけるALTの現状及び採用状況については、平成27年度は中学校に3名、小学校に7名が勤務していること、フィリピン・バギオ市から1名を直接雇用、それ以外の9名は、労働者派遣契約業者からの派遣であることを説明した。羽生市の観光PR活動を依頼できないかについては、ALTの目的は国際理解、外国語活動や英語科の授業において、先生と一緒に授業をおこなう外国人の先生ということになり、現状では難しい状況であると答弁した。</p> <p>同じく永沼正人議員から、全国および埼玉県学力学習状況調査結果について一般質問があり、調査結果についての当局の見解については、今年度の結果が芳しいものではないことを真摯に受け止め、本市において学力の向上は喫緊の課題であると認識していることを説明した。学力向上のためにどこに重点をおいた教育を行うかについては、昨年10月から羽生市全体で学力向上のための重点取組を実施し、特に子ども達が分からなかったことをわかるようにすることを重点に教育を行っており、その取組みの効果を検証するテストを実施した所、どの学校も正答率が向上していると説明し、また、平成28年度の新規事業である学力アップ羽生塾の開講準備も進め、学力保証の場を作りたいと答弁した。</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>           峯寄貴生議員からは、子供の情報モラル育成について一般質問があった。ネットアドバイザーの活用の効果と現状については、今年度はネットアドバイザーを2校が活用していること、人権教育指導者講習においても、PTA 会員及び教職員を対象にネットアドバイザーによる講義等を行っており、その他出前講座などをどの学校でも実践し、多くの保護者が危機感を持ったことを説明した。情報モラル育成の今後の対応については、学校では日頃からパソコン教室での学習や、学級活動、道徳の時間等を活用し学校生活全般において情報モラルの育成に取り組んでいる一方、情報化社会の変化の激しさから、指導が追いついていないことや、保護者の情報モラルに対する価値観に差がある現状から、学校だけで情報モラルの問題を解決するのは難しいが、その対策として啓発アプリケーションの活用や、地域社会を巻き込んだ啓発活動に取り組んでいくと答弁した。         </p> <p>           生涯学習部長 中島直樹議員から、第30回記念市民体育祭について、その後も開催を継続していくかの展望を問う議案質疑があった。市民体育祭は実行委員会を組織して運営にあたっており、会議では、選手の選考などに苦慮しているとの意見もあるが、スポーツを通じた地域コミュニティ向上のため、継続する必要があるとのことである。市としても、地域コミュニティの希薄化が懸念される中、市民体育祭はスポーツを通して地域住民の親睦と交流を図る上で大変重要なものであると考えており、今後も実行委員会を中心により一層の充実を図っていききたいと答弁した。         </p> <p>           斉藤隆議員から、羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の地域文化の振興に係る事業展開についての一般質問があった。本市では、地域に埋もれている歴史的な文化資源を掘り起こすため、地域史発掘事業に取り組んでいる。地域の宝である郷土芸能は、多くの世代が触れ合い交流することで、絆を深め、地域を元気にしていくことができる大切なものであり、郷土芸能発表会を開催することにより啓発と各団体の育成に努めている。まち・ひと・しごと創生総合戦略では、まずは地域の子供達に伝承し、大人と一体となって活動することが重要であると考え位置づけたと答弁した。         </p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 平成28年度当初教職員人事異動について</p> <p>報告事項3 小・中学校における3学期の表彰等の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>永沼正人議員からの一般質問、生涯現役社会の実現に向けてのうち2点目、ラジオ体操活動団体の育成・支援についてであるが、現在、本市ではスポーツ推進員が中心となり、ムジナもん体操やストレッチ体操の普及に努めており、ラジオ体操に関しては、発戸地区において地域の方々の自主的な取組として活動している。このような取組が市全体に広がることで更なる健康増進につながるとともに、地域コミュニティの向上が図れるものと期待し、スポーツ推進員等が協力できることがあれば対応したいと答弁した。</p> <p>報告事項2から4について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>この度の人事では、校長の異動が小学校で5校、中学校で1校、教頭の異動が小学校で2校となった。</p> <p>新郷第二小学校では、全労済小学生作品（版画の部）埼玉県コンクールで6年生の児童が埼玉新聞社賞を受賞した。手子林小学校では、埼玉県書き初め展で6年生の児童が推薦賞を受賞した。羽生南小学校では、薬物乱用防止啓発ポスターコンクールで6年生の児童が埼玉県薬剤師会長賞を受賞し、第65回社会を明るくする運動埼玉県作文コンテストで5年生の児童が埼玉県更生保護観察協会理事長賞を受賞、書き初め展覧会では、5年生の児童が推薦賞を受賞した。西中学校では、税についての作文コンクールで2年生の生徒が埼玉県租税教育推進協議会長賞を受賞した。南中学校では、第56回埼玉県小中学校児童生徒美術展第8回中央展覧会で、3年生の生徒がさいたま市教育長賞を受賞した。東中学校では、女子卓球部が第111回東部中学生卓球大会で団体の部3位に、第4回東部ダブルスチームカップで1位に入賞した。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 平成28年3月市内中学校卒業者の進路状況について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>平成27年度は、ここ数年と比較しやや県公立が多い傾向にある。本報告で進路未定となっている生徒も、その後ほぼ進路が確定している。</p>
<p>報告事項5 平成27年度学校給食実施状況について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項5から7について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項6 平成28年度学校給食センター学校給食用食材の放射性物質測定について</p>	<p>給食センター所長</p>	<p>平成26年度と比較して、給食人員については、全体で98名の減、給食納付金調定額は、全体で3,905,886円の減となっている。給食実施率は減となっているが、これからも給食の内容を良くしつつ、児童生徒に安心安全な給食を提供できるよう努力していきたい。</p>
<p>報告事項7 平成28年度学校給食センター給食試食会の実施について</p>	<p>給食センター所長</p>	<p>市場に流通している食品の放射性物質に係る安全性は、出荷・流通段階の検査により確保されているが、保護者等の不安が未だ解消されていない状況を受け、給食に使用される食材に関し、放射性物質の測定を月1回行っている。平成24年4月23日から平成28年3月9日までの期間で放射能は不検出という結果であった。</p>
	<p>教育長</p>	<p>安心・安全な学校給食の提供に努めるとともに、学校・家庭・地域と連携した食育を進める取り組みを、広く市民に理解いただくため実施するものである。5月から12月までの期間で計7回実施する予定であり、募集人員は各回20名、対象者は市内在住の方、実施場所は学校給食センター2階会議室である。会費は1食あたり、277円としている。来月の広報はにゅう及び市ホームページに掲載し、参加者を募集する。</p> <p>報告事項8から10について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項8 羽生市生涯学習出前講座事業平成27年度実績報告及び平成28年度実施内容について</p>	生涯学習課長	<p>平成27年度の実績は、23団体、23回の実施で、受講者の合計が727人であった。このうち最多であったのが高齢介護課による講座で全9回であった。</p> <p>平成28年度の実施内容では、企画課によるマイナンバー制度に関する新規の講座がある。出前講座によって市民に市の業務について知っていただけるよう進めていきたい。</p>
<p>報告事項9 羽生市産業文化ホール指定管理者の募集について</p>	生涯学習課長	<p>現在の指定管理者については平成26年度より導入し、平成29年3月で3年間の指定期間が満了となるため、平成29年4月からの指定管理者を募集する。今回指定管理者期間を5年間としたのは、魅力ある自主事業を展開していくためには、指定期間をある程度長期とした方が指定管理者も業務がしやすくなるという理由からである。今後の指定管理者剪定スケジュールにおいて、選定委員会委員の決定、選定委員会への諮問、候補者選定の議決及び市議会に提出する指定管理者の指定に関する議案の議決について教育委員会に諮ることとなる。</p>
<p>報告事項10 「埼葛・北埼玉の水塚」パネル展の結果について</p>	生涯学習課長	<p>3月18日から3月28日、羽生市役所1階エレベーター前で展示を行った。11枚のパネル展示を行い、水塚の散策MAPを展示場所にて頒布した。展示場所が目立たず、観覧者が少なかったため、今後は文化財についての情報提供をもっと積極的に行っていききたい。</p>
	教育長	<p>報告事項11から13について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項11 第29回羽生市陸上競技記録会の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>羽生市スポーツ推進委員会や小学校体育連盟、中学校体育連盟など6団体の協力をいただき、5月22日に中央公園陸上競技場にて開催する。参加資格は、陸上競技愛好者であり、小学生は市内在学の5年生以上としている。競技種目は、男子11種目、女子9種目、小学生男女2種目としている。</p>



会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項12 平成28年度トップアスリート育成事業羽生市少年野球教室の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>羽生市体育協会やスポーツ少年団本部等の協力をいただき本年度も年2回の開催を計画している。1回目は6月4日、2回目は11月5日に中央公園野球場及び羽生市体育館にて開催する。指導者は元プロ野球選手の黒江透修氏外4名を講師として招く予定であり、教室対象者は市内の小学校4年生から6年生及び指導者としている。</p>
<p>報告事項13 日本フロアカーリング協会公認全国フロアカーリング大会in羽生の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>主催は羽生市教育委員会及び羽生市スポーツ推進委員会、後援は日本フロアカーリング協会、羽生ロータリークラブ、東京新聞社として6月18日に羽生市体育館にて開催する。参加対象者は、フロアカーリング愛好者等で、5月7日から参加申込を開始し、先着順で108チームになり次第締め切る予定である。</p>
	教育長	<p>報告事項14について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項14 平成27年度羽生市立図書館、郷土資料館事業概要について</p>	図書館長兼郷土資料館長	<p>まず、図書館事業の概要について説明する。図書館協議会の実施状況については、会議を2回開催した。図書館サービス活動状況については、292日開館し、来館者数は74,539人、貸出利用者数は62,103人、貸出冊数は252,081冊であった。図書資料の購入状況については、一般図書3,470冊、児童図書1,688冊等、合計6,798冊を購入した。廃棄処分とした図書6,738冊と相殺し、蔵書数は178,814冊となった。視聴覚資料の購入状況については、DVD映画資料29枚を購入し、総数が2,787点となった。主要事業については、図書資料の充実として、多種多様なニーズに応えるための資料の収集と活用、地域の理解を深める郷土・行政資料の積極的な収集・保存、幅広い年代層に向けた視聴覚資料の収集・活用を実施した。また、利用者サービスの充実として、図書館電算システムを活用し、サービスの充実を図った。図書館事業実施状況については、乳幼児から大人までを対象に89回、92日間に及び多種多様な事業を行い、参加者数は延べ2,219人であった。</p> <p>次に、郷土資料館事業概要について説明する。郷土資料館運営</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項15 その他		<p>委員会の実施状況については、会議を2回開催した。資料収蔵状況については、民俗資料1点、文書・書籍資料20点、受託資料1点が増加し、収蔵資料は18,490点となった。購入資料状況については、郷土の歴史資料や田山花袋の関連資料を購入した。展示の開催については、通常展示、企画展示及び特別展を合計6回176日間開催し、計7,095人の入館者があった。講座等の開催については、郷土資料館でふるさと講座を2回、公民館等で出張講座を5回開催した。社寺調査実施状況については10社寺において延べ14回の調査を行った。</p>
	教育長	<p>その他の報告事項を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>羽生市学力アップ羽生塾の参加者募集について報告する。今年度の新規事業で、小学校4年生から6年生の希望者を対象として土曜日の午後に、市民プラザまたは中央公民館にて学校の宿題や復習等の学習を行う。4月28日まで希望者を募り5月21日からスタートとする予定である。学力の遅れがちな子の学力向上の対策のひとつとして考えている。</p>
	教育長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
古市委員	<p>産業文化ホール指定管理者の募集については、運用を管理者に任せきりにせず、教育委員会が主導し、羽生市の宝としてホールの音響効果の良さを有効に活用するべきだと思う。イタリアにコーラスの演奏旅行へ行っていたことがあるが、一つの町に音楽ホールがあり、町のオーケストラや合唱団があった。関東で埼玉県だけプロのオーケストラがない。東京アカデミックオーケストラは素晴らしい演奏を行うが、羽生市で演奏するときはベストメンバーで来る。それだけ産業文化ホールに価値があるという事である。オーケストラの団長と指揮者を市長に引き合わせたときの話の内容が、各学校で公演や指導等を行いたいとのことであり、1日に複数校訪問すれば、予算的にも実現可能であり、羽生市の音楽や文化レベルを向上することに非常に有効であると思った。教育委員会でも前向きに検討していただければ有難い。</p>	

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	文化ホールの指定管理者の選考については、企画提案方式をとっており、選定委員に産業文化ホール利用者も入り、羽生市にとってよい会社はどこか決めている。現在の指定管理者はケイミックスという会社だが、プロの演奏家が市内中学校の吹奏楽部を指導するマスタークリニックという事業を企画している。生涯学習課でも定期的に会議を行い、色々な事業に広く取組めるよう進めていきたい。
	柿沼委員	市内中学校卒業者の進路状況について報告があったが、地域の学力は、地域内にある大学や高校が引っ張っていくものではないかという思いがある。羽生第一高校が近年は定員割れしているようで非常に残念であるが、是非とも地域を引っ張っていく学校になって欲しい。小学校から私立の中学校へ進学する子どもも増えてきたという話も聞いているが、どのような状況か。
	学校教育課長	小学校から私立中学校への進学する人数は全体で十数名であり、羽生北小学校、羽生南小学校が他の学校より若干多い。年度によって傾向は様々である。羽生第一高校の話もあったが、教育委員会としても、保、幼、小、中、高、大の連携で学びあい夢プロジェクト事業の取組を進めており、高校が小中学校に対し部活動の指導や出前授業等で関わっている。市内の高校で普通科から専門学科までであるため、地元の高校の良さを感じられるよう、今後さらに研究を進めていきたい。
	春山委員	羽生第一高校の、岩瀬グローバルタウン事業での取組状況はどのようなものか。
	生涯学習課長	今年度の子ども大学羽生の事業において、羽生第一高校で理科の関係で一時間の授業を担当してもらう予定である。
	春山委員	平成 27 年度の学校給食実施状況について、前年度と比較し約 100 食減っているということであったが、この経費に対し、給食費の納入状況はどのようなであったか。

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	給食費の徴収について、ここ数年で頑張った成果が出ており、納付率が99パーセントを超えている。未納率は年々減っている。
	古市委員	「埼玉・北埼玉の水塚」のパネル展については、良い取り組みであると思うが、来場者が少ないのは残念である。パネルを今後も色々な機会、場所で活用できたら良いと思う。
	生涯学習課長	この水塚のパネルは、東部地区の文化財担当者が制作したもので、2年間に渡り、各市町にて巡回展を行っている。昨今災害が多発している状況において、水塚という昔の人の暮らしの知恵を紹介できる機会があれば、是非活用していきたい。
	柿沼委員	トップアスリート育成事業については、子ども達がプロの選手の指導を直接受けることができ、素晴らしい事業だと思う。市内中学校の野球部は強いが、その影響もあるのではないかと。ボランティアスタッフ、保護者も一生懸命努力しているのだと思う。
	スポーツ振興課長	少年野球教室は今では歴史ある事業になっている。しかし、児童、生徒数が減り、スポーツ少年団に参加する子ども達の数も減ってきている状況は否めない。今後スポーツ少年団の団体の集まり等で話す機会、意見を聞ける機会を有効に使い、状況の改善について努力したい。
	生涯学習部長	少年野球教室で長年指導していただいている黒江先生には、トップアスリートの育成は子どもの指導はもちろんだが、その指導者、保護者に対しても指導をしていかななくてはならない事を言われており、ここ何年かは指導者だけを会議室に集めて、講習を行っている。しかし、長年やってきた風習を変えるのは難しいところであり、今後のスポーツ振興課の大きな課題として捉えている。
	古市委員	図書館事業の概要について、ブックスタート事業は乳幼児10か月児を対象としているとのことだが、保健センターでの検診は6か月と10か月、1歳半、3歳時に実施されるため、本の読み聞かせの対象も10か月児以外の幼児に広げることは考えているか。

会議事件名	て ん 末	
	図書館長兼郷土資料館長	<p>10か月の乳幼児はちょうど絵本に興味を持ち始める頃である。ブックスタート事業は、お母さんも一緒になって、本に興味を持ってもらうことをねらいとしているため、現在のところ10か月健診時のみの実施としている。</p>
	春山委員	<p>図書館事業について、第2次羽生市子ども読書計画がスタートし、子ども達に読書に関心をもってもらう方針となっているため、子ども達が読書好きになるような、特色ある事業を展開して欲しい。図書ボランティアの方も沢山おり、協力を得て更なる発展があれば良いと思う。また、昨年度は清水卯三郎の講座もあり、世間の卯三郎に対する興味が高まっているのではないかと思う。あまり資料がないと聞いているが、広く市民に知ってもらえるよう工夫していただきたい。</p>
	生涯学習課長	<p>子ども読書計画については、生涯学習課が作成した。読み聞かせ等の普及は非常に大事であり、家庭での読書の時間が充実するよう、お家図書館等の提案をしている。図書館はじめ学校や保育園、幼稚園にも協力いただき、計画を進めていきたい。清水卯三郎については、生涯学習課で展示パネルを制作し、現在は中央公民館で展示しているが、公民館や駅の自由通路等、公共施設を巡回して展示していきたいと考えている。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>小学生への本のPRとして、先日の教頭研究会でブックトーク事業の案内をした。朝の授業前の時間で本の説明、宣伝をしていきたい。また、小さな子ども達を集めてボランティアの方にお話し会を行っていただく。その他紙芝居等も行いたいと考えている。</p>
	柿沼委員	<p>生涯学習出前講座事業について、平成28年度の教育に関する講座のテーマはどれも素晴らしいと思う。PTA 連合会に直接伝え、講座を利用することで、子どもの学力アップ等に役立ててもらえると良いのではないか。</p>
	生涯学習課長	<p>PTA 連合会は生涯学習課で所管しているため、会議等で出前講座を紹介し、もっと身近に感じてもらい活用していただければと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第23号 羽生市コミュニティ スクール推進委員会 設置校の指定につ いて</p>	教育長	報告事項については、よろしいか。
		異議なしの声あり
	教育長	議案第23号について、学校教育課長より説明を求めた。
	学校教育課長	2月の定例教育委員会で、羽生市コミュニティスクール推進委員会設置要綱については議決された。要綱第3条第1項の規定に基づき、羽生市立川俣小学校を指定する。指定期間は2年間である。
	教育長	議案第23号について意見・質問を求めた。  特になし
	教育長	議案第23号については、よろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	議案第23号については、可決された旨宣した。
<p>議案第24号 羽生市学校職員の人事評価及び評価区分に関する苦情対応実施規程</p>	教育長	議案第24号について、学校教育課長より説明を求めた。
	学校教育課長	埼玉県学校職員の人事評価に関する規則等において、人事評価制度の運用に関する苦情相談についての規定を定める等の改正がなされたことに伴い、本規程を制定するものである。新たな人事評価制度は昨年度から始まっているが、この最終評価結果及び評価区分の結果に対し発生した苦情の相談等に対応するための体制や苦情の取り扱い等について規定するものである。

会議事件名	て ん 末	
議案第25号 羽生市立学校職員服 務規程の一部を改正 する規程	教育長	議案第24号について意見・質問を求めた。  特になし
	教育長	議案第24号については、よろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	議案第24号については、可決された旨宣した。
	教育長	議案第25号について、学校教育課長より説明を求めた。
	学校教育課長	埼玉県学校職員服務規程の一部改正を受けて、羽生市学校職員 服務規程の一部改正するものである。今回の一番の改正点は、介 護休暇が3回に分けて取得できるようになったことである。
	教育長	議案第25号について意見・質問を求めた。  特になし
	教育長	議案第25号については、よろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	議案第25号については、可決された旨宣した。  議案第26号について、学校教育課長より説明を求めた。

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第26号 羽生市立学校職員の 人事評価に関する苦 情処理取扱規程を廃 止する規程</p>	<p>学校教育課長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>議案第 24 号にて可決された羽生市学校職員の人事評価及び評 価区分に関する苦情対応実施規程の制定に伴い、これまでの取扱 規程を廃止するものである。</p> <p>議案第 25 号について意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p> <p>議案第 26 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>議案第 26 号については、可決された旨宣した。</p> <p>議案第 27 号について、学校教育課長より説明を求めた。</p>
<p>議案第27号 平成28年度羽生市教 育指導員の委嘱につ いて</p>	<p>学校教育課長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>羽生市教育指導員は、県東部教育事務所や羽生市教育委員会の 学校訪問、各校の授業研究、平成の田舎教師育成塾等の指導者と して委嘱される。21名のうち8名が新規委嘱となる。</p> <p>議案第 27 号について意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p> <p>議案第 27 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>議案第 27 号については、可決された旨宣した。</p>



会議事件名	て ん 末	
	教育長	次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。
	教育総務課長	5月定例教育委員会は5月25日 午後1時30分より教育委員室にて開催する。
	教育長	閉会を宣した。
		教育長 _____ _____
		委 員 _____ _____
		委 員 _____ _____
		書 記 _____ _____